

第2次神崎市総合計画 後期基本計画がスタート



◎問い合わせ 企画課 企画係 ☎37-0102

I 策定にあたって

1 計画策定の目的

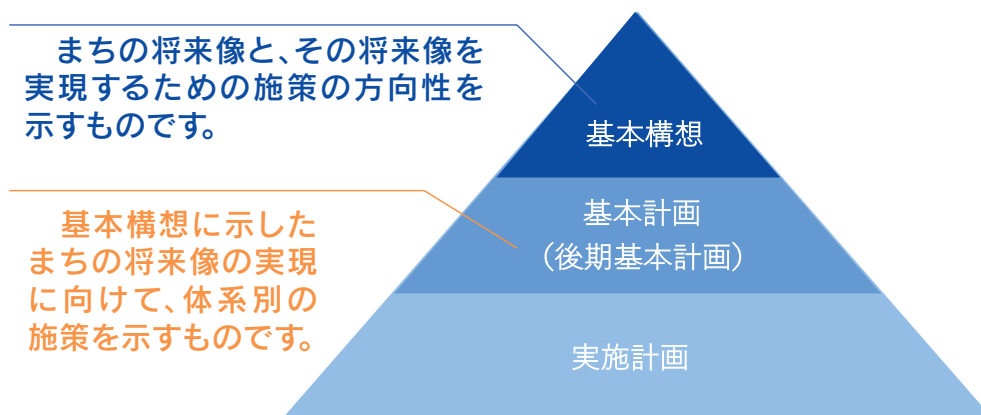
総合計画は、神崎市の目指す将来像とその実現に向けた施策を示したもので、まちづくりの指針となるものです。神崎市では平成18年3月20日の神崎町、千代田町、脊振村の3町村合併後、平成20年3月に神崎市総合計画、平成25年3月に神崎市総合計画後期基本計画、平成30年3月に第2次神崎市総合計画を策定し、施策を推進してきました。

本市の総合計画は、あらゆる時代の変化があっても、進むべき方向を見失わずに市政運営を展開するための長期的な指針であり、行財政運営の最上位計画と位置付けています。

第2次神崎市総合計画（前期基本計画）の終了年度を迎えることから、前期基本計画における施策の進捗状況や社会環境の変化に対応した見直しを行い、第2次神崎市総合計画（後期基本計画）を策定し令和5年4月にスタートします。後期基本計画を策定することにより、基本構想に定める将来像の実現に向けた取り組みを推進することを目的としています。

2 計画の構成

総合計画は「基本構想」「基本計画」によって構成され、基本計画に基づき実施計画を作成します。



3 計画の期間

後期基本計画の計画期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間です。

年度	平成 30 2018	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027
基本構想	10年間									
基本計画	前期基本計画（5年間）					後期基本計画（5年間）				
実施計画	(3年間のローリング)					(3年間のローリング)				

Ⅱ 基本構想

第2次神崎市総合計画の基本構想では、神崎市の将来像実現のための基本理念、まちづくりの基本方針を以下のように定めています。後期基本計画においても、この基本構想を引き継ぎ、まちづくりの推進に努めていきます。

将来像	基本理念	神崎市のまちづくりの基本方針
みんなで支え合い、誇りと笑顔あふれるまちを目指して 幸せつなごうかんざき	基本理念 1 “幸せ” 感じる 暮らしやすいまちづくり	① 子育てから介護まで、誰もが安心して暮らせる環境を充実させる ② 市民の日常生活を支える商業等の利便性を高める ③ 市民の暮らしを守り、支え合う、災害に強いまちづくりを進める ④ “神崎市” で暮らし続けられる、暮らしたくなる環境をつくる
	基本理念 2 “幸せ” あふれる まちの魅力・誇りづくり	⑤ まちの誇りを育む教育・学習の充実と歴史・文化を継承していく ⑥ 豊かな自然を保護、活用する ⑦ 地域資源を活かした、魅力ある観光・交流のまちづくりを進める
	基本理念 3 “幸せ” 生み出す まちの働く場づくり	⑧ 農業や地場産業を活かした、特徴のある産業を育成する ⑨ 新産業の育成や新たな企業誘致により雇用を創出する
	基本理念 4 “幸せ” 高める まちの基盤づくり	⑩ 計画的な都市基盤の整備を進める ⑪ 市民と行政の協働のまちづくりをさらに進める
	基本理念 5 “幸せ” 支える 健全な行財政運営	⑫ 効率的かつ効果的な行財政運営を行う

Ⅲ 策定にあたってのポイント

基本構想に定める「幸せつなごうかんざき」を実現することを目的とする計画		前期計画の達成状況を踏まえた計画		自然災害、感染症等の危機（リスク）に備えた計画	
GX ¹ や地球温暖化防止を推進する計画		デジタル化を推進する計画		新たにSDGs ² を施策に反映し、SDGsのマスタープランとする	

- 1 地球温暖化や環境破壊などを引き起こす温室効果ガスの排出を削減し、環境改善と共に経済社会システムの改革を行う対策
- 2 世界中にある環境問題、差別、貧困、人権問題といった課題を世界のみならず2030年までに解決していこうという計画・目標

住民も初期消火活動 文化財で防火訓練

2月19日



県の重要文化財「薬師如来坐像」(神埼町二丁目)で防火訓練が行われ、関係機関の連携を確認し、住民の防火意識を高めました。

この日は、地元の消防団員と神埼消防署員約50人と消防車7台、地元住民が参加。薬師如来坐像の収蔵庫から出火し、周囲の建物に延焼の恐れがあるとの想定で行われました。

煙が出ているとの119番通報を受け、消防車が出勤し、団員と署員がホースで放水。住民は消火栓からホースを出して放水し、初期消火に当たりました。

空手で活躍の兄弟 県教育委員会表彰を報告

2月16日



三井所太陽さん、大地さん兄弟(神埼町本堀)が県教育委員会表彰を受け、市長に報告しました。

同兄弟は、フルコンタクト空手道において優秀な成績を収め、全国で活躍したことが今回の表彰となりました。

二人は「優勝できず悔しい思いをしたが、今後も空手を頑張っていきたい」と話し、市長は「これからもしっかりと頑張してほしい。今後の活躍も期待している」と激励しました。

『レッド・トルネード』 市民応援DAY

2月25日



日本トップリーグで活躍するハンドボールチーム『トヨタ紡織九州レッド・トルネード』を市民一体となって応援するイベント「神埼市民応援DAY」が、神埼中央公園体育館で3年ぶりに開催されました。

ホーム最終戦となる試合は、対戦相手のゴールデンウルヴス福岡に前半から猛攻をかけ、43対23で快勝しました。

同試合には500人を超える来場者があり、終了後には、9年間在籍した中本和宏選手の引退式が行われ、チームの勝利で有終の美を飾りました。

神埼・吉野ヶ里チーム健闘 県内一周駅伝

2月17日~19日



第63回郡市対抗県内一周駅伝大会が開かれました。3日間とも安定した走りをみせた神埼・吉野ヶ里チームは、昨年より一つ順位を上げ、5位と健闘しました。

今年は3年ぶりに通常開催となり、全33区間272.9kmに13チームのランナーが健脚を競いました。神埼・吉野ヶ里チームは、初日2区の深堀優選手と10区の平敏治選手が区間賞の力走。4区(神埼一千代田)では、千代田中部小児童の声援を受け、地元の碓幸樹選手が懸命な走りでタスキをつなぎました。



高取山公園(神埼市地域おこし協力隊)
https://www.instagram.com/takatoriyama_park



インスタグラム アカウント名:くねんニャン【公式】
<https://www.instagram.com/kunennyan0501/>



神埼市国保・後期健診 「幸せつなごうキャンペーン」

3月8日・16日



市では、健診受診率向上を目的として「幸せつなごうキャンペーン」を実施しました。国保596人、後期356人の応募があり、3月8日に抽選会、16日に贈呈式を行いました。今年度も多くの市内企業にご協賛いただき、3月中に当選者へ賞品をお届けしました。

国保特定健診	後期高齢者健診
特賞 武藤利美子様	特賞 大串 正光様
特別賞 島 和博様	特別賞 甲斐美穂子様
市賞品 鶴 信幸様	協賛賞 松本 利美様

※その他当選者は36ページおよびホームページをご覧ください。

認知症普及啓発事業 巡回バスお披露目式

3月8日



神埼清明高校と西九州大学の学生が制作したイラストをプリントした巡回バスのお披露目式を行いました。

イラストは、認知症への理解を深めるための普及・啓発を目的として、認知症があってもなくても同じ社会で共に生きる「共生」をテーマに描かれており、神埼清明高校の生徒は「若者から高齢者までの各世代のつながりをイメージして描いた」と述べました。

バスは市内を走行していますのでぜひご覧ください。

神埼町の平川さん受章披露 消防団第4分団も受章

3月19日



第69回佐賀県消防大会が基山町民会館で行われ、令和4年春の叙勲を受章された平川秀典さん(神埼町神納:写真左から3人目)が壇上で紹介されました。平川さんは38年間消防団に在籍され、分団長を務められるなど神埼市民の安全安心の確保に尽力されました。

このほか、日頃の消防団活動の功労や功績に対し消防団第4分団(宮地孝典分団長)が、佐賀県消防協会定例表彰竿頭綬を受章しました。

旅立ちの春 マスク外し卒業式

3月10日、17日



市内の小・中学校10校で卒業式が行われました。コロナ禍を過ごしてきた児童・生徒たちは、この日はマスクを外し、晴れやかな表情で卒業証書を受け取りました。

千代田中学校では、男女95人が巣立ちの日を迎えました。原田浩臣校長から卒業証書を手渡された卒業生の表情からは、笑顔や緊張感が直に伝わってきました。

原田校長は「前向きに自分の力を信じて、夢を持って生きて欲しい」と激励。卒業生を代表して橋本理央さんが「この3年間関わってくれた全ての人に感謝したい」と述べました。